

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

# 総合東京病院通信

 2018.5  
 Vol. 67

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信 Vol.67

●平成30年5月発行

●編集・発行／総合東京病院

〒165-8906 東京都中野区江古田3-15-2

TEL. 03-3387-5421(代)

## 特集

女性特有の病気「骨盤臓器脱（POP）」  
 「尿もれや下半身の違和感を感じる方へ」


 総合東京病院  
 婦人科

**永井 崇**

出産経験のある女性で「最近、股の間に何かはさまった感じがする」あるいは「尿がスッキリ出ない」「時々、尿漏れがおこる」といった症状はいつでも1つの病態を起因としているケースが多いです。骨盤臓器脱（POP）は主に、子宮・膀胱・直腸が膣から下降して排尿排便に関わる不具合を呈する疾患であり、アメリカでは80歳までに全女性の1割が外科的治療を受けると報告されています。

### 骨盤臓器脱の具体的な症状は？

出産経験のある婦人の4割は骨盤臓

器脱の何らかの症状を有していると言われています。初期には子宮の下垂感といきみに伴う「尿失禁」が主なもので、「股の間の違和感」や「くしゃみ・咳をした時の尿漏れ」の症状を呈する事が多いのですが、下垂が進むにつれて逆に排尿障害をきたし、「尿の勢いが弱く腹圧をかけないとしっかり出ない」、あるいは「残尿感を感じる」という傾向が強まってきます。

### 原因と予防策は？

その原因は出産・加齢・肥満・職業（腹圧のかかる生活習慣）・婦人科手術



PET-CT装置

## PET-CTがんドック予約受付中

「PET-CTがんドック」 ※総合東京病院の来院申込者

通常料金 108,000円 ➡ 優待料金 **86,400円(税込)**

※「脳検査」を追加の場合は、108,000円(税込)になります。

詳しくは、予防医学課へ

☎03-3387-5462

受付時間／月～土（日・祝除く）  
 AM 9:00 ~ PM 5:00

特集

# 女性特有の病気「骨盤臓器脱（POP）」

～尿もれや下半身の違和感を感じる方へ～

既往を主な要素として、骨盤底筋群や各種靭帯の損傷・弱体化から恥骨と尾骨の間のすき間、つまり膣や肛門の脆弱なスペースが拡大する事で起こります。

予防策は骨盤底筋群を鍛錬することですが、専門的な指導を受けないと理解するのは少し難しいかもしれません。

## どういった治療があるのか？

下垂の程度が軽いうちは、シリコン製のペッサリーと呼ばれるリングを膣内に留置するだけでも症状改善の可能性は高いと思います。ただし、少なくとも半年毎に交換しなくてはならない事と根治的治療ではない点から、時期をみて手術治療も考慮していく方が好ましいでしょう。

骨盤臓器脱手術には経腔的手術と腹腔鏡手術の2種類があり、人工物であるメッシュを使用するかしないかの選択になります。メッシュを使用しない場合の再発率は20～30%と高く、将来的に再手術

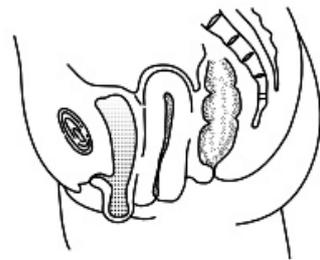
の可能性も考慮しなければなりません。メッシュを使用する場合の再発率は6%程度とかなり抑えられますので、糖尿病や膠原病など細菌感染に弱い合併症や服薬などが無い場合は、メッシュを使用した腹腔鏡手術を勧めます。いずれの手術も骨盤臓器の解剖学的位置を復元する目的で行います。注意点として、尿道や膀胱が元の位置に是正されることにより、長期間にわたって尿道あるいは尿道膀胱移行部にかかっていた負担が無くなり、尿失禁症状が顕性化されてくる場合があります。その場合は、尿失禁に対して現在標準的な手術である尿道スリングの適応となることがあります。これは腹圧時に尿道を下から支持して閉鎖に働き、尿漏れを防ぐ目的で行います。メッシュと同じ素材のテープを尿道下に留置する手術ですが、効きすぎると再び排尿障害の恐れが出てくるため、尿失禁の程度にあわせて慎重に適応を決定します。



- 1：子宮脱第1度（子宮下垂）
- 2：子宮脱第2度（不全子宮脱）
- 3：子宮脱第3度（全子宮脱）



子宮脱のみ



子宮脱+膀胱瘤

### <子宮脱の種類>